

平成30年度 東京都看護人材実態調査(都内病院看護部に対する調査)

調査目的 都内病院における看護人材の実態を調査し、看護職員確保対策推進のための基礎資料とする。

調査概要 【調査対象】 都内病院看護部 (647部)
 【調査期間】 平成30年6月7日～6月29日
 【調査方法】 アンケート方式
 【調査内容】 職員の状況、職員への支援、都の事業等の活用状況、施設間人材交流 等

I	許可病床数及び病床別回収率	P. 1
II	職員の状況	
1.	在籍職員数等	P. 2
2.	職員の採用・退職状況	P. 3
3.	今後の配置計画	P. 5
4.	今後の配置計画にかかる看護職員の主たる増減理由	P. 6
5.	人材確保困難度(1年前との比較)	P. 6
6.	看護職員の採用・確保で効果をあげていると感じる取組	P. 7
7.	看護職員の離職防止で効果をあげていると感じる取組	P. 7
8.	看護職員確保のための有料職業紹介事業者利用状況	P. 8
9.	定年退職後の看護職員の活用	P. 9
III	職員への支援	
1.	職員への研修	P. 10
2.	認定看護師・専門看護師・特定行為研修修了者	P. 10
3.	育児・介護中の看護職員への支援	P. 11
4.	夜勤の看護職員への支援	P. 11
5.	他職種へのタスク・シフティング(業務移管)の実施状況	P. 12
IV	都の事業等の活用事業	
1.	ナースバンクについて	P. 13
2.	ハローワークについて	P. 14
3.	看護師等免許保持者の届出制度について	P. 14
4.	看護職員の確保・育成・定着に向けて期待する都の支援	P. 15
V	施設間人材交流	
1.	施設間人材交流の状況	P. 16

※複数回答の設問における「%」は、回答総数に占める割合を示す。

I 許可病床数 (平成30年5月1日時点)

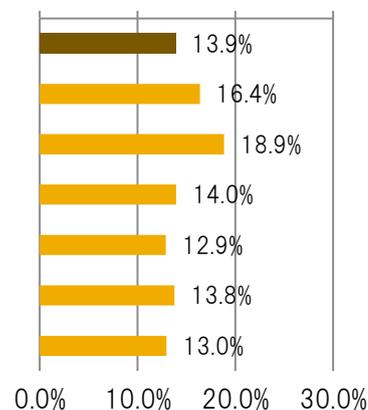
	調査票配布数	回答数	病床数別回収率
500床以上	49	37	75.5%
400～499床	36	21	58.3%
300～399床	50	33	66.0%
200～299床	65	35	53.8%
100～199床	198	83	41.9%
99床以下	249	100	40.2%
合計	647	309	47.8%

Ⅱ 職員の状況

1. 在籍職員数 2. 職員の採用、退職の状況

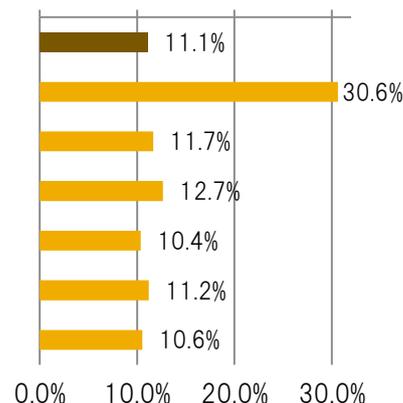
病院看護職員(常勤)退職率 (n=258)

	平成29年4月1日時点 職員数 (a)	平成30年3月31日時点 職員数 (b)	平成29年度中の 総退職者数 (c)	退職率 (c/((a+b)/2))
全体 n=258	50,144	48,594	6,850	13.9%
99床以下 n=81	2,821	2,751	456	16.4%
100~199床 n=66	4,408	4,504	840	18.9%
200~299床 n=29	4,964	4,808	682	14.0%
300~399床 n=29	6,803	6,469	855	12.9%
400~499床 n=19	6,157	6,327	860	13.8%
500床以上 n=34	24,991	23,735	3,157	13.0%



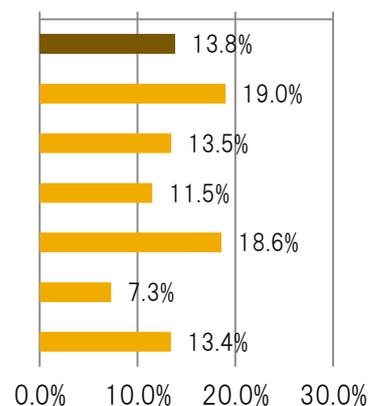
新卒看護職員退職率 (n=258)

	平成29年度 新卒退職者数 (a)	平成29年度 新卒採用者数 (b)	退職率 (a / b)
全体 n=258	462	4,172	11.1%
99床以下 n=81	19	62	30.6%
100~199床 n=66	21	180	11.7%
200~299床 n=29	28	221	12.7%
300~399床 n=29	54	521	10.4%
400~499床 n=19	61	544	11.2%
500床以上 n=34	279	2,644	10.6%



病院看護補助者(常勤)退職率 (n=258)

	平成29年4月1日時点 職員数 (a)	平成30年3月31日時点 職員数 (b)	平成29年度中の 総退職者数 (c)	退職率 (c/((a+b)/2))
全体 n=258	6,689	7,112	955	13.8%
99床以下 n=81	848	889	165	19.0%
100~199床 n=66	1,671	1,718	228	13.5%
200~299床 n=29	1,127	1,097	128	11.5%
300~399床 n=29	849	850	158	18.6%
400~499床 n=19	514	881	51	7.3%
500床以上 n=34	1,680	1,677	225	13.4%



※各退職率は、(公社)日本看護協会による「看護職員離職率」の計算方法に則って算出

<参考> 2016年度都道府県別離職率 ((公社)日本看護協会による「2017年病院看護実態調査」)

○ 東京都正規雇用看護職員離職率:13.8% ○ 東京都新卒看護職員離職率:9.2%

Ⅱ 職員の状況

2. 職員の採用・退職状況

(1) 採用者数 《平成29年4月1日から平成30年3月31日までの期間に採用した看護職員・看護補助者》(n=309)

			採用者 (内訳)					
			自己採用	ハローワーク (職業安定所)	ナースバンク (無料職業紹介所)	有料職業紹介 事業者	その他	
看護職員 (内訳)	新卒者	【常勤】	4,531人	4,067人 (95.9%)	3人 (0.1%)	3人 (0.1%)	27人 (0.6%)	142人 (3.3%)
		【非常勤】	43人	40人 (93.0%)	0人 (0.0%)	1人 (2.3%)	2人 (4.7%)	0人 (0.0%)
	転職者(※)	【常勤】	3,024人	1,523人 (53.4%)	38人 (1.3%)	10人 (0.4%)	1,181人 (41.4%)	101人 (3.5%)
		【非常勤】	849人	495人 (64.2%)	30人 (3.9%)	5人 (0.6%)	191人 (24.8%)	50人 (6.5%)
	再就業者(※)	【常勤】	317人	199人 (62.8%)	35人 (11.0%)	4人 (1.3%)	95人 (30.0%)	21人 (6.6%)
		【非常勤】	143人	83人 (58.0%)	20人 (14.0%)	13人 (9.1%)	28人 (19.6%)	12人 (8.4%)
	定年退職後 再雇用者	【常勤】	112人	74人 (66.1%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	3人 (2.7%)	11人 (9.8%)
		【非常勤】	56人	49人 (87.5%)	4人 (7.1%)	0人 (0.0%)	1人 (1.8%)	3人 (5.3%)
	看護補助者	【常勤】	1,144人	706人 (61.8%)	173人 (15.1%)	/	142人 (12.5%)	119人 (10.4%)
			1,170人	575人 (49.1%)	132人 (11.3%)		293人 (25.0%)	125人 (10.7%)
【非常勤】		(再掲)定年退職後 再雇用者	68人	43人 (63.2%)	23人 (33.8%)		1人 (1.5%)	1人 (1.5%)
		30人	22人 (73.3%)	3人 (10.0%)	1人 (3.3%)		0人 (0.0%)	

※[転職者]: 離職期間1年未満

[再就業者]: 離職期間1年以上

(2) 退職者数 《平成29年4月1日から平成30年3月31日までの期間に退職した看護職員・看護補助者》(n=309)

		退職者 (内訳)					
		離職(※)	転職(※)	定年退職	その他・不明		
看護職員	【常勤】	7,088人	2,895人 (40.8%)	2,147人 (30.3%)	198人 (2.8%)	1,308人 (18.6%)	
		982人	325人 (33.1%)	335人 (34.1%)	22人 (2.2%)	256人 (26.1%)	
	(再掲) 看護管理者 (看護師長以上)	【常勤】	182人	61人 (33.5%)	46人 (25.3%)	39人 (21.4%)	15人 (8.3%)
		【非常勤】	7人	5人 (71.4%)	3人 (42.9%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
	(再掲) 平成29年度に 採用した 新卒看護職員	【常勤】	530人	215人 (40.6%)	98人 (18.5%)	0人 (0.0%)	88人 (16.6%)
		【非常勤】	27人	13人 (48.1%)	10人 (37.0%)	0人 (0.0%)	3人 (11.1%)
看護補助者	【常勤】	1,128人	381人 (33.8%)	315人 (28.0%)	68人 (6.0%)	323人 (28.7%)	
	【非常勤】	1,030人	344人 (33.4%)	144人 (14.0%)	9人 (0.9%)	429人 (41.6%)	

※[離職]: 次の職場が決まっていない or 看護職員・看護補助者以外での勤務が決まっている状態での退職

[転職]: 次の職場で看護職員・看護補助者としての勤務が決まっている状態での退職

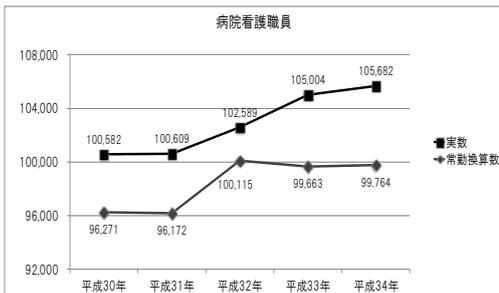
Ⅱ 職員の状況

3. 今後の配置計画【各年12月31日現在】

- ①病床数は現状と変化ないものとする
- ②調査回答のあった施設の病床数、看護職員配置計画を基に、各年の1床あたりの配置数を算出
- ③②の各年の1床あたりの配置数に、都内総病床数を乗じて各年の職員数を算出

※平成30年から34年にかけて回答数が減少するため、数字の精度が低くなると考えられる。

(1) 病院看護職員



床数	n	看護職員・実数					看護職員・常勤換算					
		平成30年	平成31年	平成32年	平成33年	平成34年	平成30年	平成31年	平成32年	平成33年	平成34年	
		n=142	n=136	n=115	n=108	n=106	n=109	n=105	n=90	n=87	n=87	
20~49床	n=15	配置計画数	314	321	253	252	251	191	193	180	180	181
		回答病床数合計	497	497	404	404	404	352	352	314	314	314
		1床あたりの人員	0.63	0.65	0.63	0.62	0.62	0.54	0.55	0.57	0.57	0.58
		需要数	1,990	2,034	1,972	1,964	1,956	1,704	1,728	1,809	1,809	1,815
50~99床	n=27	配置計画数	1,401	1,368	1,369	1,317	1,319	1,060	1,027	984	984	984
		回答病床数合計	1,785	1,749	1,667	1,592	1,592	1,674	1,638	1,556	1,481	1,481
		1床あたりの人員	0.78	0.78	0.82	0.83	0.83	0.63	0.62	0.66	0.66	0.66
		需要数	9,556	9,523	9,999	10,072	10,087	7,708	7,604	8,037	8,090	8,090
100~199床	n=46	配置計画数	3,768	3,605	3,269	3,076	2,938	2,332	2,333	2,016	2,049	2,021
		回答病床数合計	6,691	6,132	5,545	5,084	4,705	3,954	3,692	3,082	3,082	3,047
		1床あたりの人員	0.56	0.59	0.59	0.61	0.62	0.59	0.63	0.65	0.66	0.66
		需要数	16,022	16,726	16,773	17,214	17,766	16,781	17,977	18,609	18,911	18,866
200~299床	n=24	配置計画数	3,612	3,720	3,109	3,099	3,109	3,237	3,364	3,127	3,137	3,147
		回答病床数合計	5,419	5,482	4,419	4,135	4,135	5,155	5,218	4,405	4,405	4,405
		1床あたりの人員	0.67	0.68	0.70	0.75	0.75	0.63	0.64	0.71	0.71	0.71
		需要数	10,750	10,944	11,347	12,087	12,126	10,128	10,389	11,450	11,487	11,523
300~399床	n=16	配置計画数	4,274	3,483	2,231	2,241	2,241	2,966	2,321	1,523	1,527	1,527
		回答病床数合計	5,242	4,614	2,645	2,645	2,645	3,969	3,345	1,985	1,985	1,985
		1床あたりの人員	0.82	0.75	0.84	0.85	0.85	0.75	0.69	0.77	0.77	0.77
		需要数	13,535	12,531	14,002	14,064	14,064	12,406	11,521	12,740	12,773	12,773
400~499床	n=6	配置計画数	2,338	2,351	1,950	1,950	1,950	1,698	1,704	1,815	1,473	1,473
		回答病床数合計	2,506	2,506	2,105	1,702	1,702	2,105	2,105	2,105	1,702	1,702
		1床あたりの人員	0.93	0.94	0.93	0.94	0.94	0.81	0.81	0.86	0.87	0.87
		需要数	14,772	14,854	14,667	14,931	14,931	12,775	12,820	13,655	13,703	13,703
500床以上	n=17	配置計画数	9,290	10,611	9,109	8,793	8,813	7,607	8,782	7,253	6,433	6,453
		回答病床数合計	9,786	11,165	9,632	9,072	9,072	7,827	9,206	7,673	6,997	6,997
		1床あたりの人員	0.95	0.95	0.95	0.97	0.97	0.97	0.95	0.95	0.92	0.92
		需要数	33,959	33,997	33,830	34,672	34,751	34,768	34,124	33,816	32,891	32,993
需要数合計			100,582	100,609	102,589	105,004	105,682	96,271	96,172	100,115	99,663	99,764

《参考①》

病院看護職員従事者数(平成28年12月末時点)

実数: 86,715人

常勤換算数: 83,828.2人

(出典: 東京都看護師等従事者届)

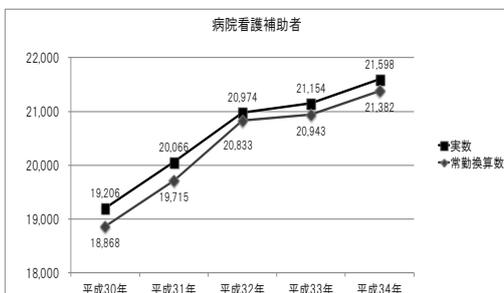
《参考②》

東京都看護職員需要見通し(平成23年~27年)

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
看護職員需要見通し(全体)	115,462人	116,827人	118,228人	119,727人	120,575人
うち、病院勤務者	83,070人	83,794人	84,490人	85,277人	85,387人

※常勤換算数

(2) 病院看護補助者



床数	n	看護補助者・実数					看護補助者・常勤換算					
		平成30年	平成31年	平成32年	平成33年	平成34年	平成30年	平成31年	平成32年	平成33年	平成34年	
		n=133	n=129	n=108	n=102	n=100	n=103	n=98	n=83	n=80	n=79	
20~49床	n=15	配置計画数	84	89	85	82	82	64	61	62	63	63
		回答病床数合計	487	487	416	416	416	365	332	294	294	294
		1床あたりの人員	0.17	0.18	0.20	0.20	0.20	0.18	0.18	0.21	0.21	0.21
		需要数	543	575	643	621	621	555	579	664	671	675
50~99床	n=27	配置計画数	361	380	359	325	327	335	347	332	299	300
		回答病床数合計	1,538	1,635	1,478	1,345	1,345	1,427	1,524	1,367	1,234	1,234
		1床あたりの人員	0.23	0.23	0.24	0.24	0.24	0.23	0.23	0.24	0.24	0.24
		需要数	2,854	2,826	2,953	2,937	2,955	2,856	2,772	2,957	2,945	2,955
100~199床	n=46	配置計画数	1,483	1,412	1,342	1,277	1,263	925	876	747	765	769
		回答病床数合計	6,691	6,025	5,545	5,084	4,885	4,057	3,682	3,082	3,082	3,047
		1床あたりの人員	0.22	0.23	0.24	0.25	0.26	0.23	0.24	0.24	0.25	0.25
		需要数	6,306	6,668	6,886	7,146	7,356	6,489	6,954	6,891	7,059	7,178
200~299床	n=24	配置計画数	855	982	865	867	864	835	917	829	831	832
		回答病床数合計	4,935	5,198	4,135	4,135	4,135	4,955	4,971	4,158	4,158	4,158
		1床あたりの人員	0.17	0.19	0.21	0.21	0.21	0.17	0.18	0.20	0.20	0.20
		需要数	2,794	3,047	3,374	3,382	3,370	2,717	2,976	3,217	3,225	3,229
300~399床	n=16	配置計画数	552	530	308	308	308	342	331	205	205	205
		回答病床数合計	4,607	4,298	2,329	2,329	2,329	3,334	3,029	1,669	1,669	1,669
		1床あたりの人員	0.12	0.12	0.13	0.13	0.13	0.10	0.11	0.12	0.12	0.12
		需要数	1,989	2,047	2,195	2,195	2,195	1,703	1,815	2,035	2,035	2,035
400~499床	n=6	配置計画数	254	269	207	162	162	163	166	177	137	137
		回答病床数合計	2,506	2,506	2,105	1,702	1,702	2,105	2,105	2,105	1,702	1,702
		1床あたりの人員	0.10	0.11	0.10	0.10	0.10	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08
		需要数	1,605	1,700	1,557	1,507	1,507	1,225	1,246	1,330	1,270	1,270
500床以上	n=17	配置計画数	880	905	711	711	709	746	757	679	679	677
		回答病床数合計	10,105	10,105	7,557	7,557	7,057	8,030	8,030	6,497	6,497	5,997
		1床あたりの人員	0.09	0.09	0.09	0.09	0.10	0.09	0.09	0.10	0.10	0.11
		需要数	3,115	3,204	3,366	3,366	3,594	3,324	3,739	3,739	3,739	4,041
需要数合計			19,206	20,066	20,974	21,154	21,598	18,868	19,715	20,833	20,943	21,382

Ⅱ 職員の状況

4. 「3. 今後の配置計画」にかかる看護職員の主たる増減理由 (n=205) ※複数回答可

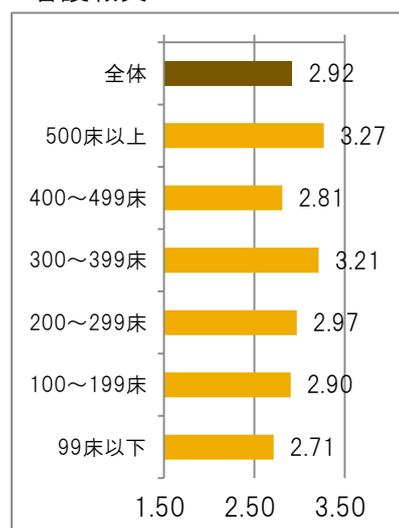


5. 人材確保困難度(1年前との比較)

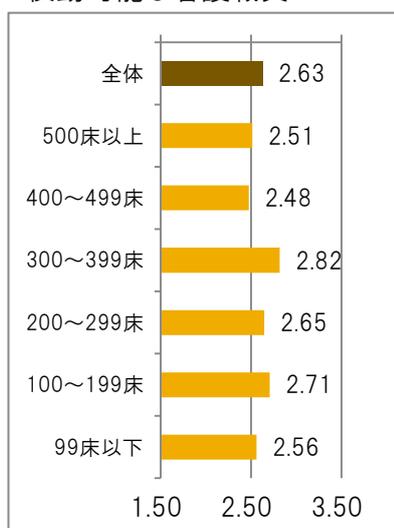
	看護職員 n=305	夜勤可能な 看護職員 n=305	看護補助者 n=295
全体	2.92	2.63	1.77
500床以上	3.27	2.51	1.54
400～499床	2.81	2.48	1.65
300～399床	3.21	2.82	1.75
200～299床	2.97	2.65	1.63
100～199床	2.90	2.71	1.79
99床以下	2.71	2.56	1.89

- 1 — 非常に困難になった
- 2
- 3 — 変わらない
- 4
- 5 — 非常に確保しやすくなった

看護職員



夜勤可能な看護職員



看護補助者

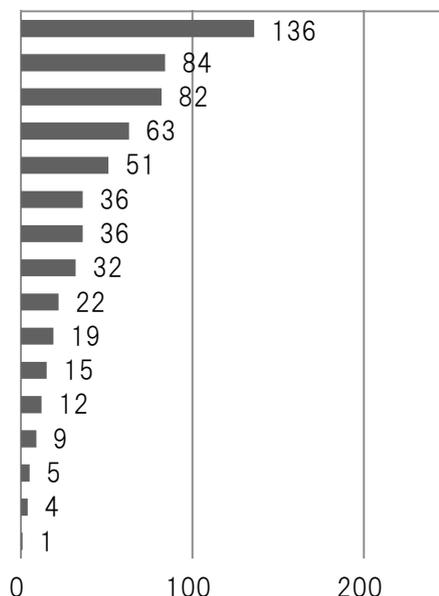


Ⅱ 職員の状況

6. 看護職員の採用・確保で効果をあげていると感じる取組 ※上位3つまで回答可

(1)新卒者 (n=235)

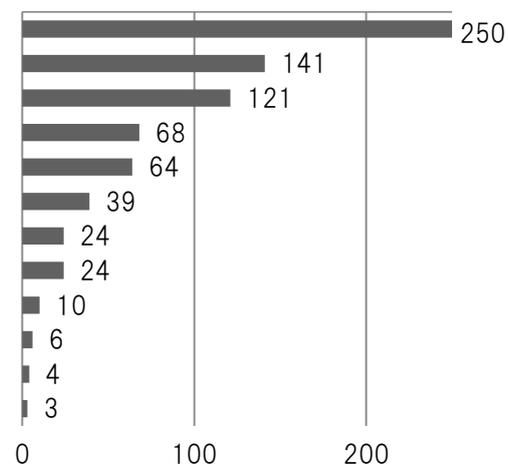
項目	回答数
ホームページ	136
就職説明会への参加	84
インターンシップの受入	82
見学・相談等の随時対応	63
学生実習の受入	51
有料職業紹介事業者の利用	36
独自の奨学金等の実施	36
看護職員の口コミ	32
その他	22
求人誌・求人広告	19
ハローワークの利用	15
養成施設へのリクルート	12
ナースバンクの利用	9
東京都看護師等修学資金の返還免除施設(※)である	5
SNS(フェイスブック等)	4
看護管理者等の地域のネットワーク	1



※200床未満の病院及び精神病床8割以上の病院等

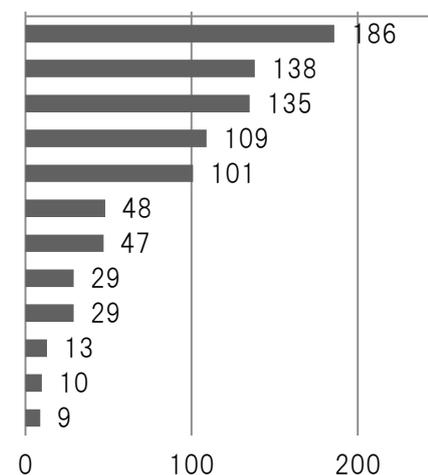
(2)再就業者 (n=302)

項目	回答数
ホームページ	250
有料職業紹介事業者の利用	141
看護職員の口コミ	121
求人誌・求人広告	68
ハローワークの利用	64
就職相談会への参加	39
ナースバンクの利用	24
その他	24
東京都ナースプラザの地域確保支援事業(復職支援研修)への参加	10
看護管理者等の地域のネットワーク	6
病院独自で実施している潜在(離職)看護職員に対する復職研修	4
SNS(フェイスブック等)	3



7. 看護職員の離職防止で効果をあげていると感じる取組 (n=302) ※上位3つまで回答可

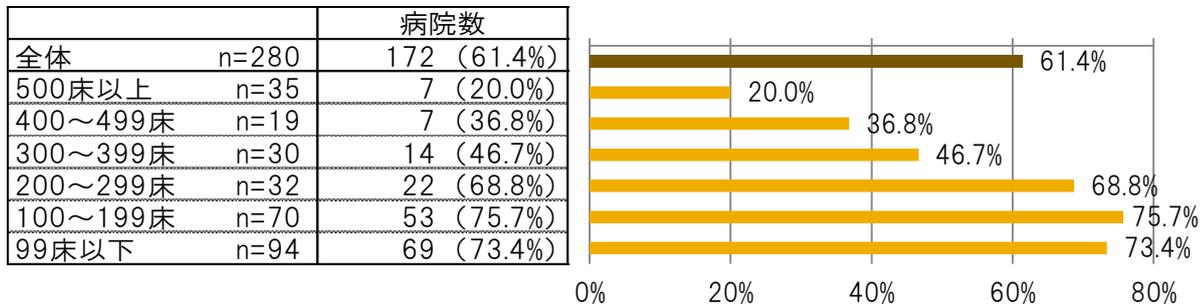
項目	回答数
良好な人間関係、職場づくりの推進	186
有給休暇、長期休暇、介護休暇、育児休暇等の休暇取得の推進	138
ライフワークバランスを重視した勤務調整	135
研修等教育機会の充実	109
面談や定期ミーティングの開催	101
院内保育所設置等の育児支援	48
各種手当、賞与の充実	47
福利厚生への充実	29
寮の整備、家賃手当等の充実	29
キャリアサポート(休職、奨学金)	13
臨床心理士やリエゾン看護師等の設置による職員のメンタルフォロー	10
その他	9



Ⅱ 職員の状況

8. 看護職員確保のための有料職業紹介事業者利用状況

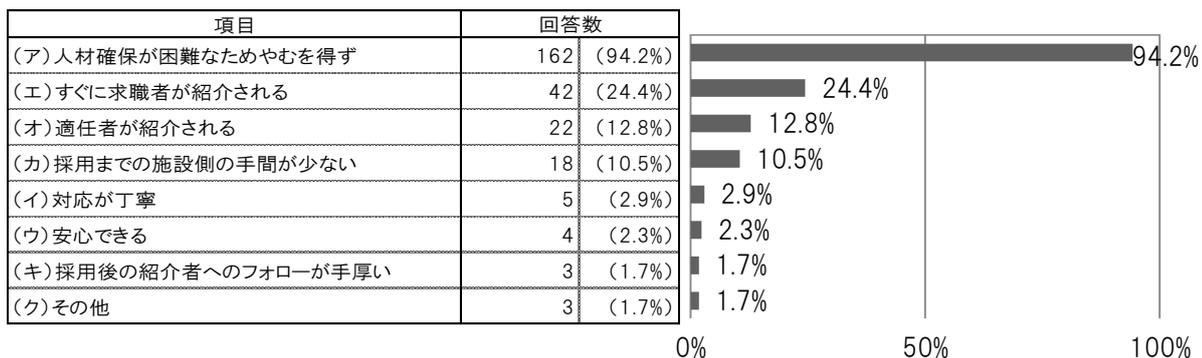
(1) 過去3年の利用の有無 (n=280)



(2) 採用者数及び定着の状況 ((1)で利用したことがあると回答した方)

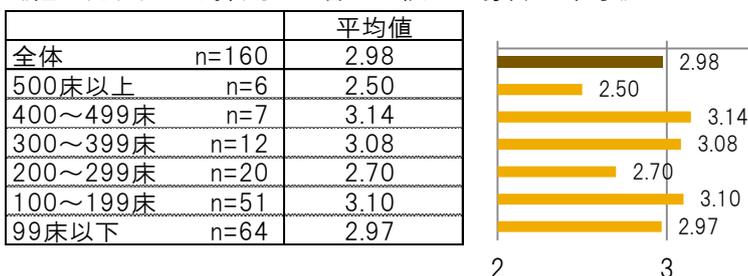
常勤						非常勤					
27年度	(再掲)現在在籍者	28年度	(再掲)現在在籍者	29年度	(再掲)現在在籍者	27年度	(再掲)現在在籍者	28年度	(再掲)現在在籍者	29年度	(再掲)現在在籍者
1,504人	645人 (42.9%)	1,557人	836人 (53.7%)	1,455人	1,041人 (71.5%)	203人	49人 (24.1%)	174人	67人 (38.5%)	227人	130人 (57.3%)

(3) 有料職業紹介事業者を利用する理由 ((1)で利用したことがあると回答した方) ※複数回答可



(4) 事業者から紹介された看護職員の定着状況 ((1)で利用したことがあると回答した方)

《他の方法により採用した者と比較した場合の印象》

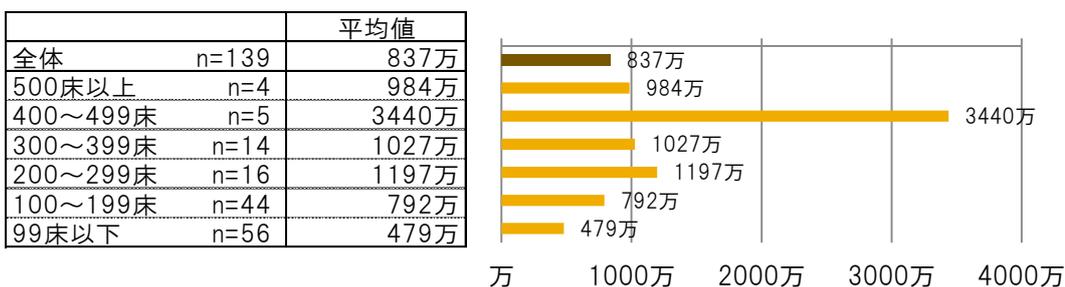


- 1 — 非常に悪い(定着していない)
- 2
- 3 — 変わらない
- 4
- 5 — 非常に良い(定着している)

【点数分布】

点数	1	2	3	4	5
回答数	9	31	83	29	8

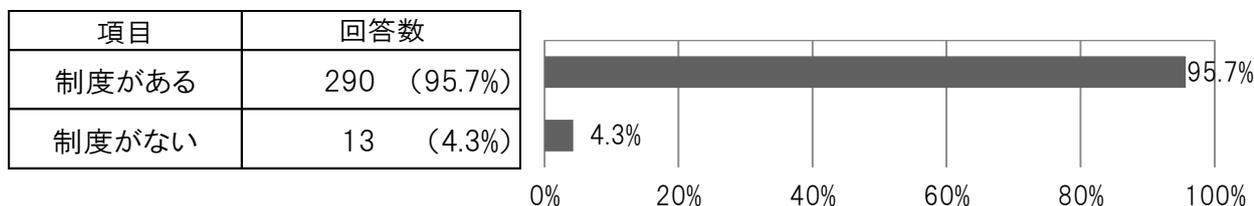
(5) 事業者への年間支払金額総額 ((1)で利用したことがあると回答した方)



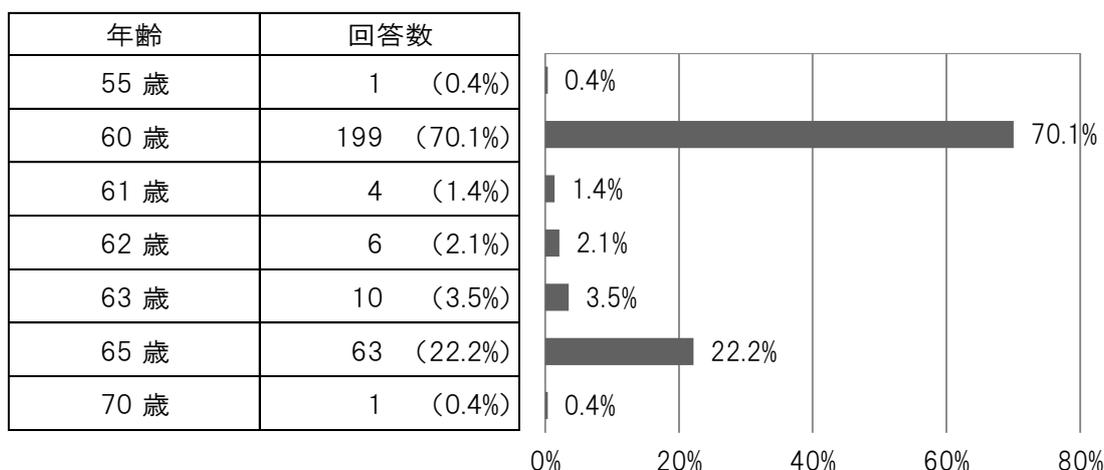
Ⅱ 職員の状況

9. 定年退職後の看護職員の活用

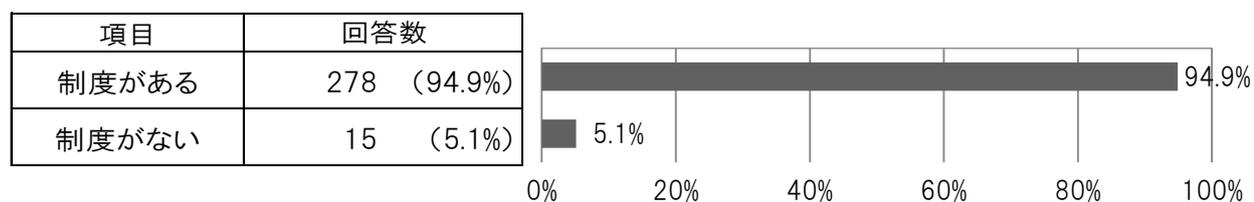
(1) 正規職員の定年退職制度の有無 (n=303)



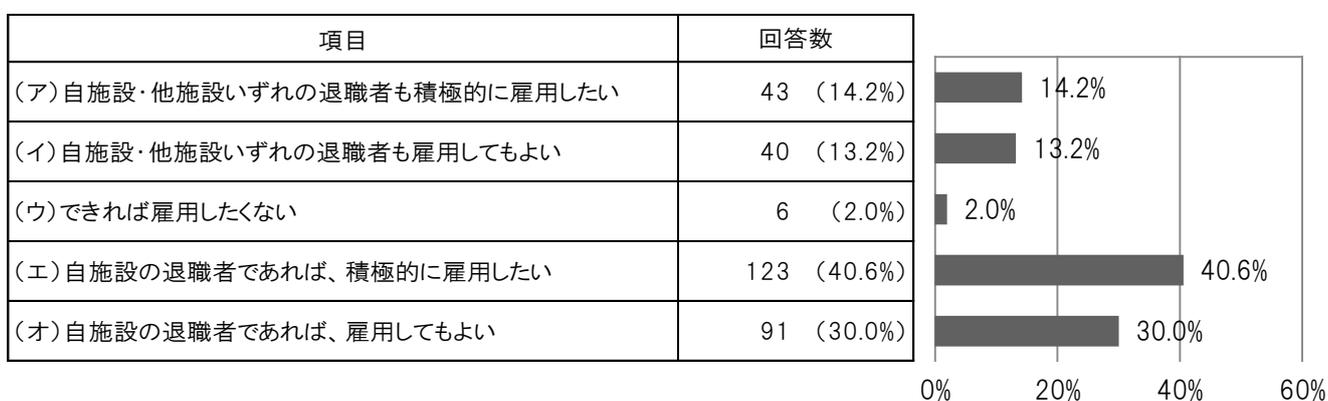
(2) 定年退職の年齢 (n=284)



(3) 自施設における定年退職者の再雇用制度の有無 (n=293)



(4) 定年退職者の再雇用に対する考え方 (n=303)



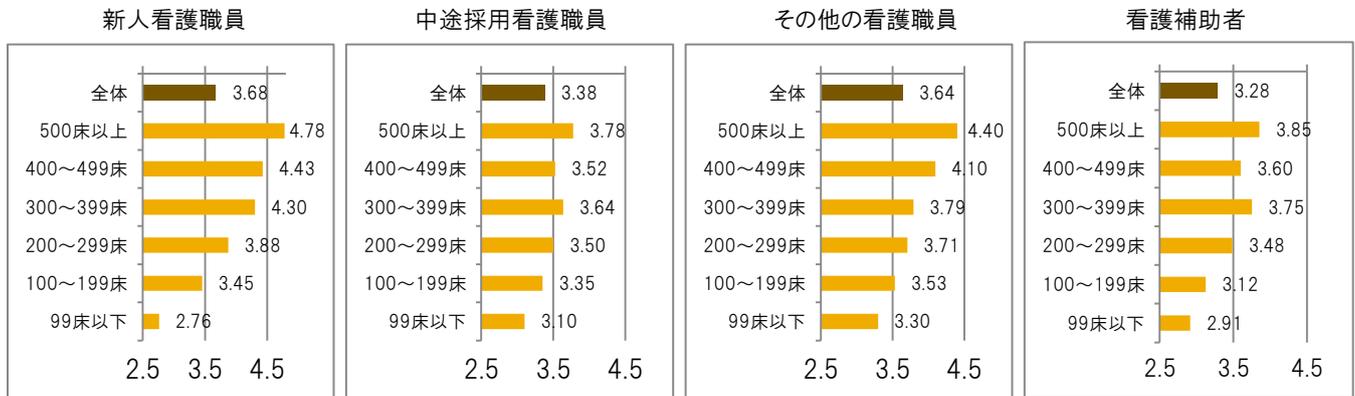
Ⅲ 職員への支援

1. 職員への研修

病床別調査結果

	新人看護職員 n=267	中途採用看護職員 n=303	その他の看護職員 n=302	看護補助者 n=292
全体	3.68	3.38	3.64	3.28
500床以上	4.78	3.78	4.40	3.85
400～499床	4.43	3.52	4.10	3.60
300～399床	4.30	3.64	3.79	3.75
200～299床	3.88	3.50	3.71	3.48
100～199床	3.45	3.35	3.53	3.12
99床以下	2.76	3.10	3.30	2.91

1 — 非常に不足している
 2
 3 — どちらともいえない
 4
 5 — 十分できている



【点数分布】

点数	新人看護職員 n=267	中途採用看護職員 n=303	その他の看護職員 n=302	看護補助者 n=292
1	28 (10.5%)	11 (3.6%)	7 (2.3%)	17 (5.8%)
2	22 (8.2%)	40 (13.2%)	18 (6.0%)	53 (18.2%)
3	49 (18.4%)	107 (35.3%)	101 (33.4%)	79 (27.1%)
4	77 (28.8%)	112 (37.0%)	126 (41.7%)	116 (39.7%)
5	91 (34.1%)	33 (10.9%)	50 (16.6%)	27 (9.2%)

2. 認定看護師・専門看護師・特定行為研修修了者 現員及び目標人員 合計数

	現員(2018.6.1時点)			2025年時点の目標人員		
	認定看護師 n=278	専門看護師 n=248	特定行為研修修了者 n=238	認定看護師 n=246	専門看護師 n=221	特定行為研修修了者 n=221
全体	1,452 人	230 人	67 人	1,703 人	426 人	428 人
500床以上	824 人	168 人	18 人	778 人	230 人	147 人
400～499床	176 人	20 人	13 人	177 人	43 人	26 人
300～399床	210 人	23 人	11 人	264 人	50 人	89 人
200～299床	106 人	10 人	8 人	179 人	17 人	37 人
100～199床	88 人	1 人	13 人	183 人	47 人	75 人
99床以下	48 人	8 人	4 人	122 人	39 人	54 人

Ⅲ 職員への支援

3. 育児・介護中の看護職員への支援

	制度の有無		働きやすさ向上のために 効果をあげている取組 (上位3つまで回答可)	働きやすさ向上のために 今後実施したい取組 (上位3つまで回答可)
	回答数	実施率 (n=309)		
育児に伴う夜勤免除制度	250	80.9%	192	36
介護に伴う短時間勤務制度	158	51.1%	57	40
介護に伴う夜勤免除制度	153	49.5%	42	39
院内保育(昼間)	124	40.1%	98	34
保育サービス利用料の補助	90	29.1%	49	56
院内保育(夜間)	79	25.6%	55	50
病児・病後児保育	35	11.3%	18	75
介護サービス利用料の補助	21	6.8%	3	33
その他	21	6.8%	13	17

4. 夜勤の看護職員への支援

	制度の有無		働きやすさ向上のために 効果をあげている取組 (上位3つまで回答可)	働きやすさ向上のために 今後実施したい取組 (上位3つまで回答可)
	回答数	実施率 (n=309)		
夜勤の連続回数が2連続(2回まで)の設定	204	66.0%	42	12
看護補助者との業務分担	203	65.7%	65	36
11時間以上の勤務間隔の確保	201	65.0%	41	12
夜勤後の「暦日の休日」(※)の確保	200	64.7%	72	21
早出や遅出の看護補助者の配置	197	63.8%	103	27
病棟クレークの配置	173	56.0%	66	25
夜勤時間帯の看護補助者の配置	163	52.8%	85	49
夜勤専従者の雇用	153	49.5%	56	34
他職種との業務分担	138	44.7%	34	60
看護職員の増員	137	44.3%	47	75
月の夜勤回数の上限の設定	129	41.7%	25	28
電子カルテ活用等ICTの推進	128	41.4%	15	42
看護補助者の増員	122	39.5%	58	103
夜勤時間帯の看護職員配置の増員	62	20.1%	31	64
短時間勤務の看護職員の増員	55	17.8%	15	28
その他	3	1.0%	0	0

Ⅲ 職員への支援

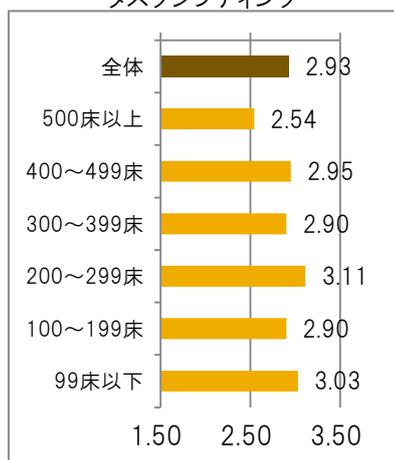
5. 看護職員の業務負担軽減のための他職種へのタスク・シフティング(業務移管)の実施状況

病床別調査結果

	看護補助者 に対する タスクシフティング n=298	事務職 に対する タスクシフティング n=299	その他専門職 に対する タスクシフティング n=299
全体	2.93	2.60	2.52
500床以上	2.54	2.22	2.14
400～499床	2.95	2.57	2.57
300～399床	2.90	2.41	2.50
200～299床	3.11	2.83	2.60
100～199床	2.90	2.61	2.44
99床以下	3.03	2.73	2.68

- 1 — 不十分である
 2 — どちらともいえない
 3 — どちらともいえない
 4 — どちらともいえない
 5 — 十分である

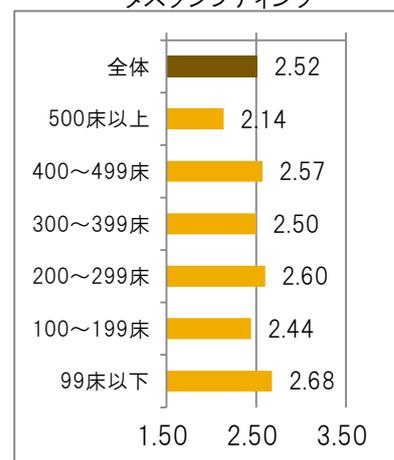
看護補助者に対する
タスクシフティング



事務職に対する
タスクシフティング



その他専門職に対する
タスクシフティング



【点数分布】

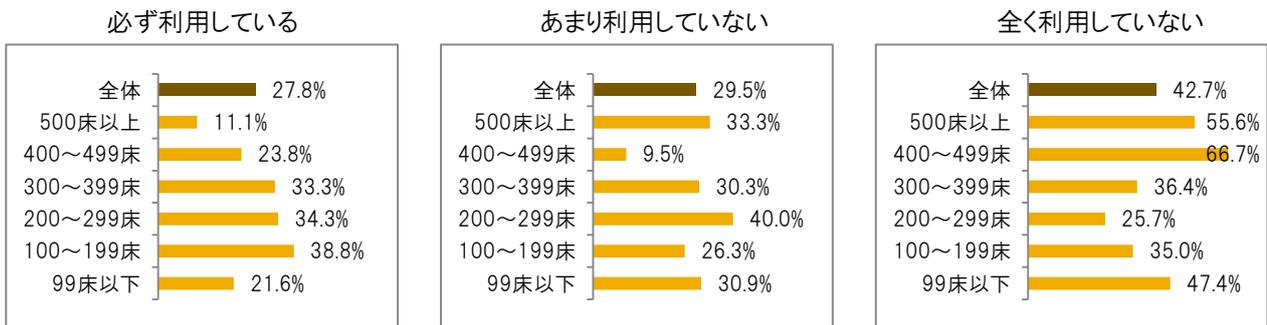
点数	看護補助者 に対する タスクシフティング n=298	事務職 に対する タスクシフティング n=299	その他専門職 に対する タスクシフティング n=299
1	28 (9.4%)	53 (17.7%)	44 (14.7%)
2	58 (19.5%)	74 (24.7%)	80 (26.8%)
3	124 (41.6%)	119 (39.8%)	154 (51.5%)
4	83 (27.9%)	45 (15.1%)	19 (6.4%)
5	5 (1.7%)	8 (2.7%)	2 (0.7%)

IV 都の事業等の活用状況

1. ナースバンクについて

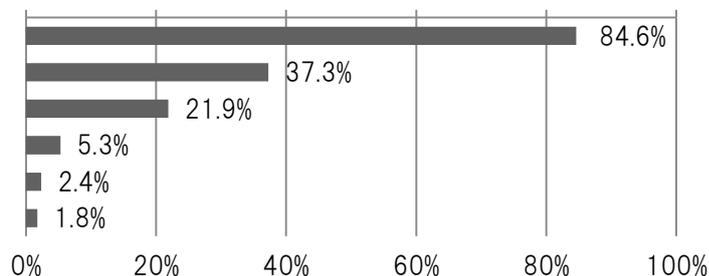
(1) 求人募集の際のナースバンク利用状況

	必ず利用している	あまり利用していない	全く利用していない
全体 n=302	84 (27.8%)	89 (29.5%)	129 (42.7%)
500床以上 n=36	4 (11.1%)	12 (33.3%)	20 (55.6%)
400～499床 n=21	5 (23.8%)	2 (9.5%)	14 (66.7%)
300～399床 n=33	11 (33.3%)	10 (30.3%)	12 (36.4%)
200～299床 n=35	12 (34.3%)	14 (40.0%)	9 (25.7%)
100～199床 n=80	31 (38.8%)	21 (26.3%)	28 (35.0%)
99床以下 n=97	21 (21.6%)	30 (30.9%)	46 (47.4%)



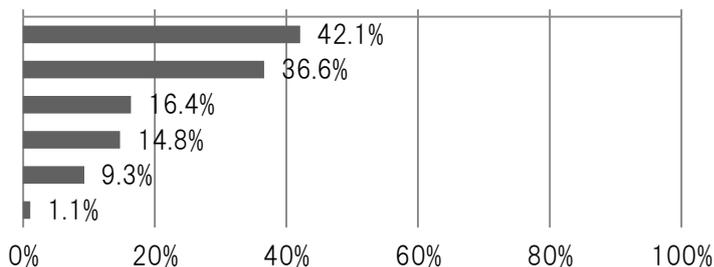
(2) ナースバンクを利用する理由 (n=169) ※複数回答可

項目	回答数
無料	143 (84.6%)
安心できる	63 (37.3%)
対応が丁寧	37 (21.9%)
その他	9 (5.3%)
すぐに求職者が紹介される	4 (2.4%)
適任者が紹介される	3 (1.8%)



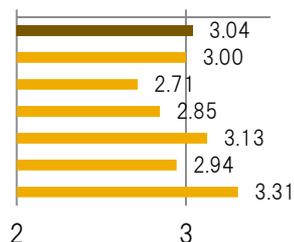
(3) ナースバンクを利用しない理由 (n=183) ※複数回答可

項目	回答数
登録しても求職者が紹介されない	77 (42.1%)
その他	67 (36.6%)
適任者が紹介されない	30 (16.4%)
登録が複雑	27 (14.8%)
採用までの施設側の手間が多い	17 (9.3%)
採用後の紹介者へのフォローがない	2 (1.1%)



(4) ナースバンクから紹介された職員の定着状況

	平均値
全体 n=102	3.04
500床以上 n=4	3.00
400～499床 n=7	2.71
300～399床 n=13	2.85
200～299床 n=16	3.13
100～199床 n=36	2.94
99床以下 n=26	3.31



1 - 非常に悪い(定着していない)
 2
 3 - 変わらない
 4
 5 - 非常に良い(定着している)

【点数分布】

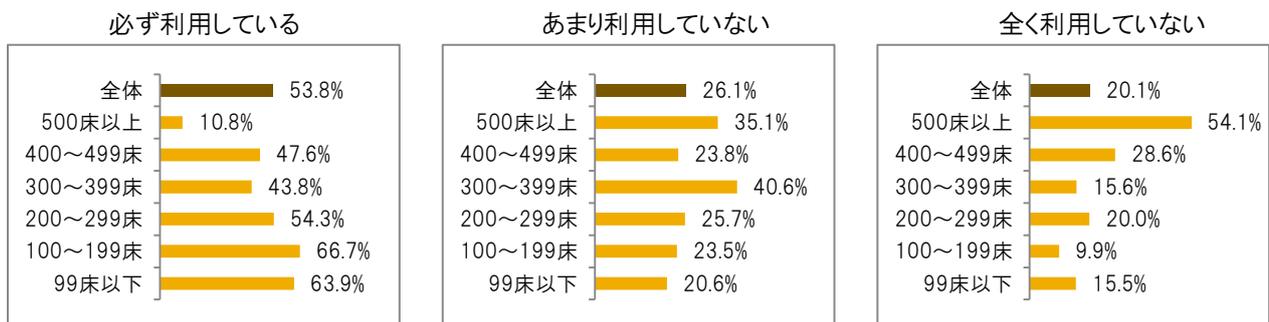
点数	1	2	3	4	5
回答数	12	13	53	15	9

IV 都の事業等の活用状況

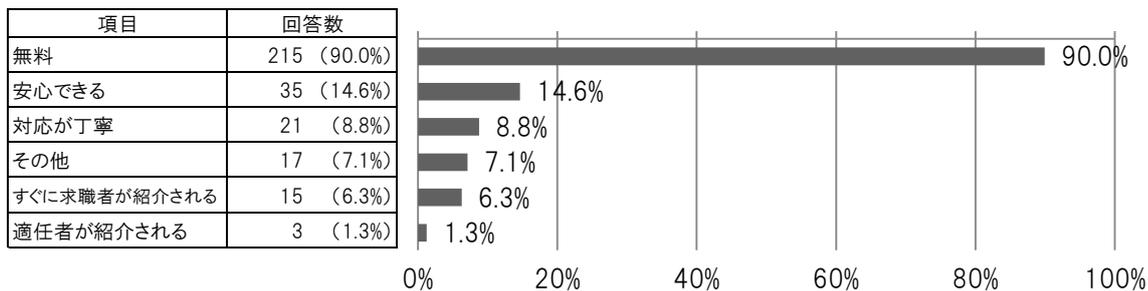
2. ハローワークについて

(1) 求人募集の際のハローワーク利用状況

	必ず利用している	あまり利用していない	全く利用していない
全体 n=303	163 (53.8%)	79 (26.1%)	61 (20.1%)
500床以上 n=37	4 (10.8%)	13 (35.1%)	20 (54.1%)
400～499床 n=21	10 (47.6%)	5 (23.8%)	6 (28.6%)
300～399床 n=32	14 (43.8%)	13 (40.6%)	5 (15.6%)
200～299床 n=35	19 (54.3%)	9 (25.7%)	7 (20.0%)
100～199床 n=81	54 (66.7%)	19 (23.5%)	8 (9.9%)
99床以下 n=97	62 (63.9%)	20 (20.6%)	15 (15.5%)

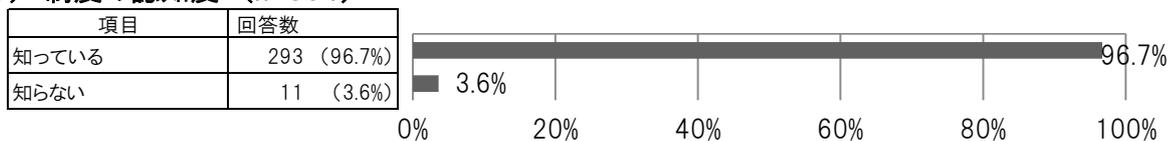


(2) ハローワークを利用する理由 (n=239) ※複数回答可

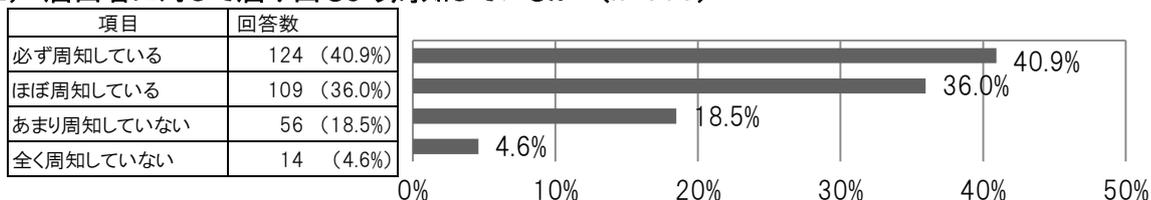


3. 看護師等免許保持者の届出制度について

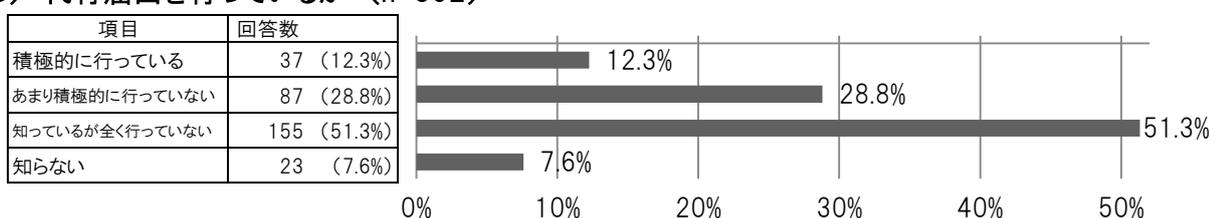
(1) 制度の認知度 (n=304)



(2) 届出者に対して届け出るよう周知しているか (n=303)



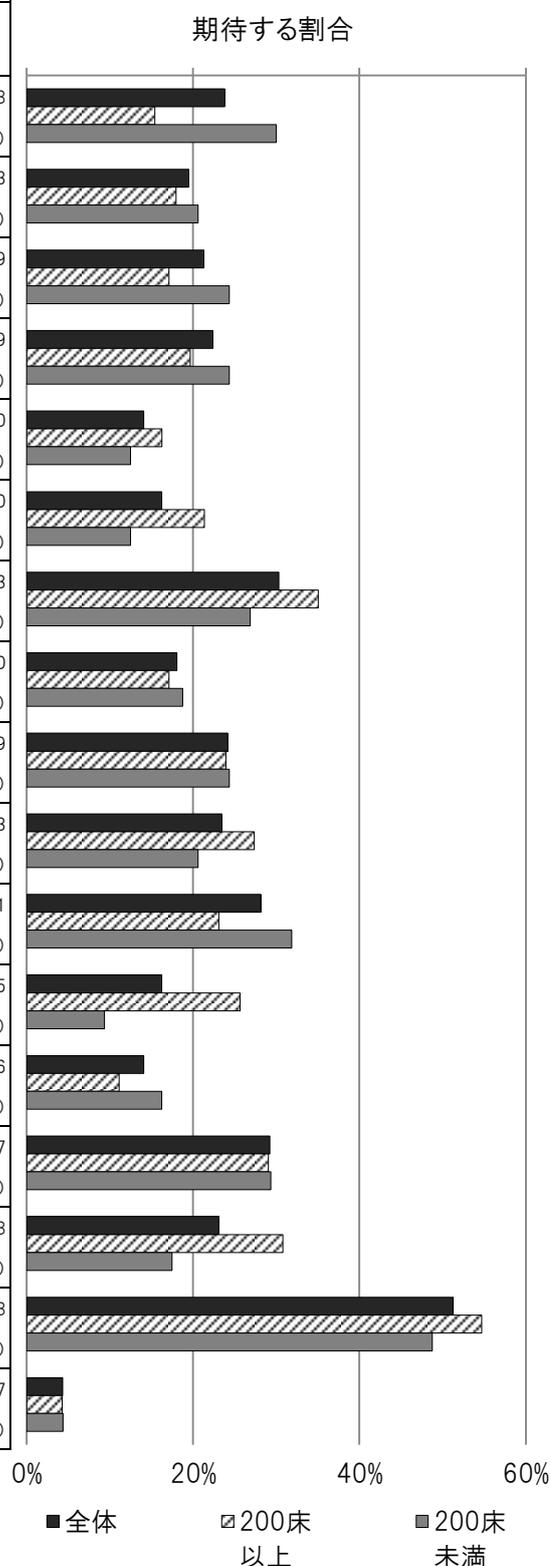
(3) 代行届出を行っているか (n=302)



Ⅳ 都の事業等の活用状況

4. 看護職員の確保・育成・定着に向けて期待する都の支援 ※複数回答可

項目	全体		
	n=277	200床以上 n=117	200床未満 n=160
(ア)教育体制・研修に関する助言・相談	66 (23.8%)	18 (15.4%)	48 (30.0%)
(イ)業務改善に関する助言・相談	54 (19.5%)	21 (17.9%)	33 (20.6%)
(ウ)職員募集・広報に関する助言・相談	59 (21.3%)	20 (17.1%)	39 (24.4%)
(エ)働きやすい職場づくりに関する助言・相談	62 (22.4%)	23 (19.7%)	39 (24.4%)
(オ)離職中の看護職が復職する際の研修に対する支援	39 (14.1%)	19 (16.2%)	20 (12.5%)
(カ)短時間正社員制度や夜勤負担軽減等の勤務形態の導入による看護職員の負担軽減に向けた取組への支援	45 (16.2%)	25 (21.4%)	20 (12.5%)
(キ)認定看護師資格取得のための支援	84 (30.3%)	41 (35.0%)	43 (26.9%)
(ク)休憩室等の整備に関する補助	50 (18.1%)	20 (17.1%)	30 (18.8%)
(ケ)労務管理等に関し電話等で相談できる窓口	67 (24.2%)	28 (23.9%)	39 (24.4%)
(コ)新人看護職員の研修に対する補助	65 (23.5%)	32 (27.4%)	33 (20.6%)
(サ)資質向上を目指す研修の実施	78 (28.2%)	27 (23.1%)	51 (31.9%)
(シ)看護師宿舎整備に関する補助	45 (16.2%)	30 (25.6%)	15 (9.4%)
(ス)ナースステーションの改修等に関する補助	39 (14.1%)	13 (11.1%)	26 (16.3%)
(セ)長期研修受講者に対する支援	81 (29.2%)	34 (29.1%)	47 (29.4%)
(ソ)特定行為研修受講のための支援	64 (23.1%)	36 (30.8%)	28 (17.5%)
(タ)看護補助者の養成・育成に対する支援	142 (51.3%)	64 (54.7%)	78 (48.8%)
(チ)その他	12 (4.3%)	5 (4.3%)	7 (4.4%)

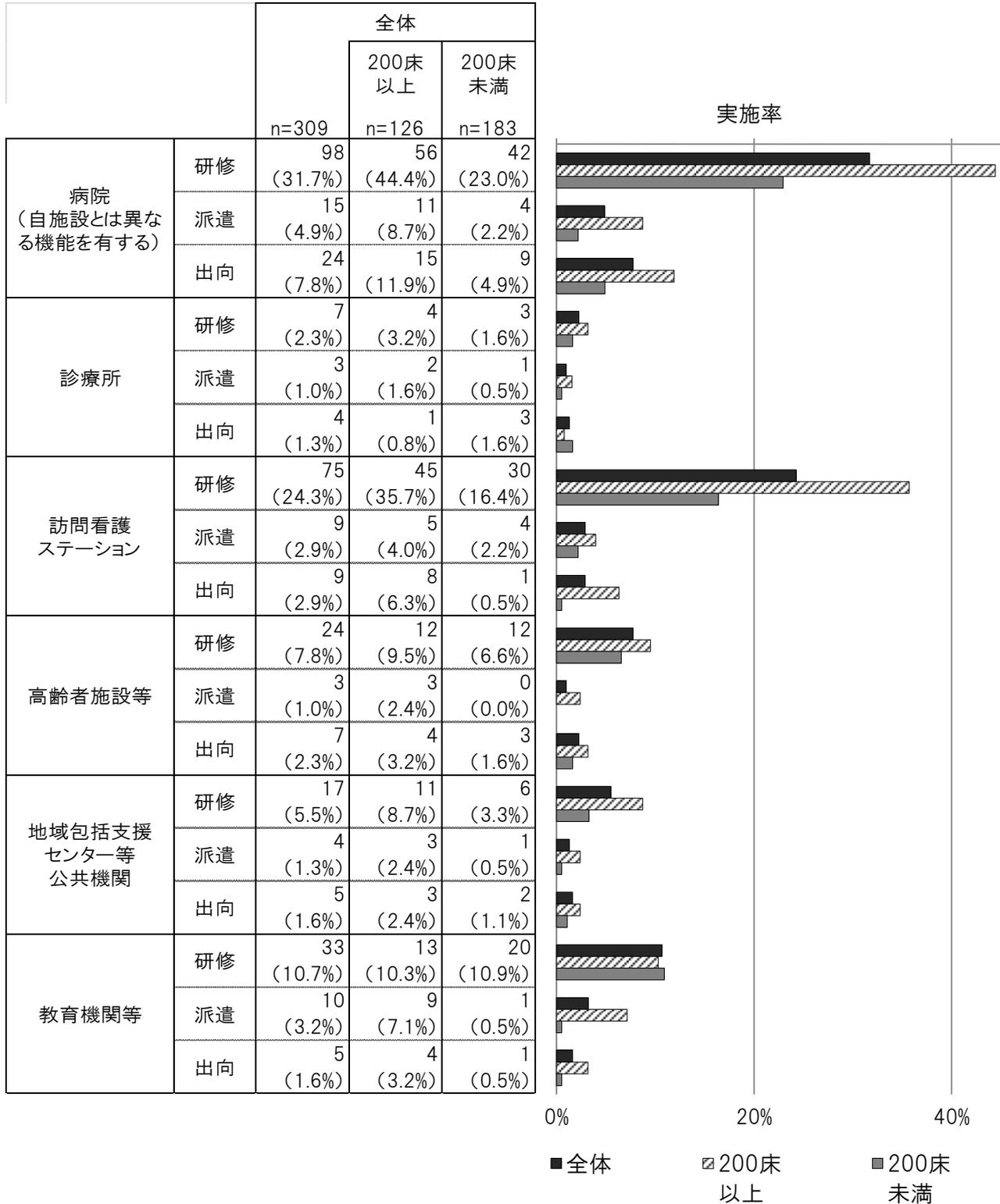


V 施設間人材交流

1. 地域連携強化や、異なる視点・スキル習得のための施設間人材交流の状況

(1) 現在実施中の施設間人材交流

():実施率

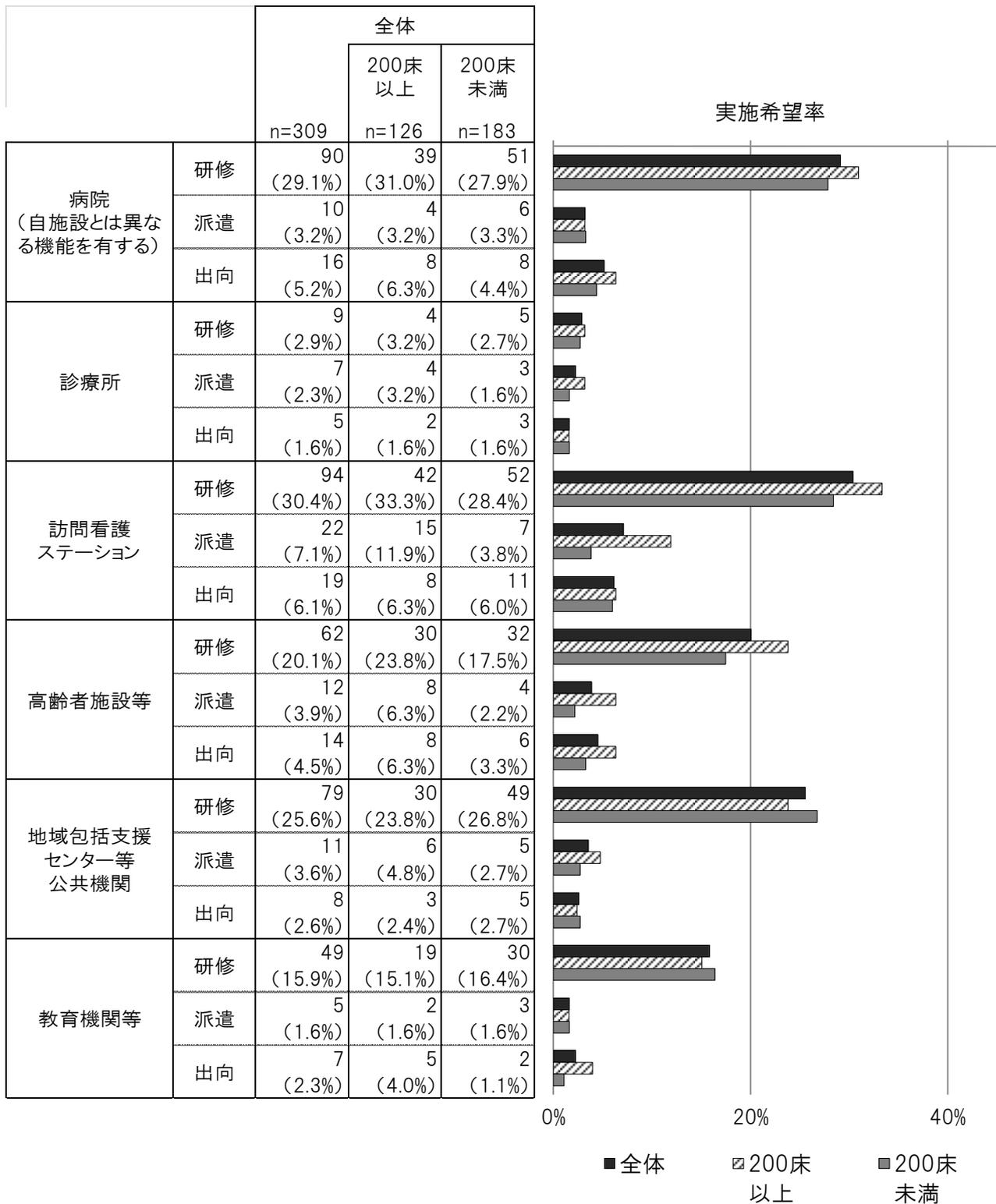


V 施設間人材交流

1. 地域連携強化や、異なる視点・スキル習得のための施設間人材交流の状況

(2)-1 今後実施したい施設間人材交流（全回答者）

():実施希望率



V 施設間人材交流

1. 地域連携強化や、異なる視点・スキル習得のための施設間人材交流の状況

(2)-2 今後実施したい施設間人材交流(現在人材交流を実施していない病院のみ抽出)

():実施希望率

		全体		
		n=309	200床以上 n=126	200床未満 n=183
病院 (自施設とは異なる機能を有する)	研修	57 (18.4%)	20 (15.9%)	37 (20.2%)
	派遣	7 (2.3%)	1 (0.8%)	6 (3.3%)
	出向	11 (3.6%)	5 (4.0%)	6 (3.3%)
診療所	研修	8 (2.6%)	4 (3.2%)	4 (2.2%)
	派遣	5 (1.6%)	3 (2.4%)	2 (1.1%)
	出向	4 (1.3%)	2 (1.6%)	2 (1.1%)
訪問看護 ステーション	研修	72 (23.3%)	30 (23.8%)	42 (23.0%)
	派遣	19 (6.1%)	14 (11.1%)	5 (2.7%)
	出向	18 (5.8%)	8 (6.3%)	10 (5.5%)
高齢者施設等	研修	57 (18.4%)	26 (20.6%)	31 (16.9%)
	派遣	12 (3.9%)	8 (6.3%)	4 (2.2%)
	出向	12 (3.9%)	7 (5.6%)	5 (2.7%)
地域包括支援 センター等 公共機関	研修	74 (23.9%)	26 (20.6%)	48 (26.2%)
	派遣	8 (2.6%)	4 (3.2%)	4 (2.2%)
	出向	6 (1.9%)	2 (1.6%)	4 (2.2%)
教育機関等	研修	32 (10.4%)	11 (8.7%)	21 (11.5%)
	派遣	4 (1.3%)	1 (0.8%)	3 (1.6%)
	出向	6 (1.9%)	4 (3.2%)	2 (1.1%)

